



令和3年度 神奈川県立多摩高等学校 第3回学校運営協議会議事録

日 時：令和3年10月28日(金) 11:00～15:30

場 所：多摩高等学校 応接室他

出席者：学校運営協議会委員全員及び校長、副校長

1 開会

校長挨拶

- ・コロナのため10月に予定されていた研修旅行を来年3月に延期
- ・今後、韓国と台湾の高校と共同研究を進めていく予定

2 協議

a 多摩高等学校の学校経営計画について(校長)

多摩高等学校スクールポリシーについて

(学校運営協議会員からのご意見)

- ・グローバル人材の育成を目指すという学校教育目標はすばらしい。韓国、台湾の高校との交流推進とあるが、歴史問題等の扱いはどうなっているのか。→センシティブで大事な問題であるが、当面は親睦ムードを前面に出して推進していく。

b 3学年探究活動(MerakiⅢ)成果発表会時程について(副校長)

13:15～13:30 開会式

13:30～14:10 ポスターセッション(8分x5回 体育館等)

14:20～15:20 プレゼンテーション発表(視聴覚室)

15:30 終了後、解散

(学校運営協議会員からのご意見)

- ・SDGsと絡めた研究テーマ設定は時代に合っている。世界共通であり、発展性もある。

c 多摩高等学校のこれからの在り方について(意見聴取)

(学校運営協議会員からのご意見)

- ・最近の若者は与えられた選択肢でしか考えられない。自由な発想が欠けているのではないか。多摩高から海外の大学へ進学するという選択肢もあってよいのではないか。

3 その他

次回以降の開催について

- ・12月 学校評価についての中間報告及び次年度に向けた意見聴取
- ・3月 令和3年度最終評価と次年度に向けた意見聴取

4 閉会

3 学年探究活動（MerakiⅢ）成果発表会に関するアンケート

I 3 学年探究活動（MerakiⅢ）成果発表会について（回収数 3）

① たいへんよかった 2 ②よかった 1 ③よくなかった

① 及び③と答えた場合には理由をお書きください。

・ポスターセッション形式を体験できたことは生徒にとっても大きな学びとなった。見やすく視覚的に訴えるようなポスターを工夫したり、わかりやすく伝わる文章を考えたり、聞きやすい速さで話す練習をしたり、様々なスキルを磨く機会となった。これからの人生に活かしていけると思う。外国人留学生の参加も有意義で、生徒たちは臆することなく熱心に答えていた。

・課題設定に個性が感じられる。高校生らしい関心事、目のつけどころを楽しむことができた。

・留学生に流暢に説明する生徒（個人差はあるが）が頼もしく思え、さすが多摩高だと感じた。

・テーマ決めから調査、研究、実験と多岐に亘り長時間の学習結果を発表する場としてたいへんよかったと思う。次年度も継続して欲しい。

II その他

3 学年探究活動（MerakiⅢ）成果発表会について感想、要望、意見等お書きください。

・堂々と発表する生徒を見て将来の可能性を感じた。2 年かけて探究活動したからか、自信が窺えた。日常には学びのきっかけが溢れていて、それが好奇心を刺激するものになっていくでしょう。

・生徒の発表能力の高さは、生徒自身の努力だけでなく、先生方のご指導の賜物であると感じている。

・廊下のブースが接近しすぎて、隣のプレゼンの声が大きく聞こえることもあり、十分に理解できないケースがあった。

・校内放送とブースのプレゼンの時間の流れがまったく一致しておらず、妨げとなっていた。ブースごとの時間管理に任せるべきだと感じた。

・Meraki 1 期生の発表を見学した後輩たちが、さらに充実したものにしてくれると期待している。

・初めてのポスターセッションで、話す方も聞く方も戸惑いがあったようだが、継続していくことで自信を持って発表できるようになると思う。視聴覚室の発表は楽しく聞くことができた。